

WE ♥ HEGURI
将来を見つめ、優しい活力あるまちに。

Instagram
始めました



YAMADA.HITOKI

山田ひとき

平群町議会議員 ◆ 後援会会報

発行/山田ひとき後援会
広報部
令和4年2月5日発行
〒636-0932
奈良県生駒郡平群町西宮2-6-21
Tel.0745-45-4845 FAX0745-45-4727
メールアドレス hitoki@m4.kcn.ne.jp

山田ひときの略歴

- ◇昭和36年4月16日平群町に生まれる
- ◇平群西小卒業 ◇平群中学校卒業
- ◇県立高田高等学校卒業
- ◇摂南大学 建築学科卒業
- ◇一級建築士
- ◇スキューバダイビング資格取得



- 総務建設委員会 委員
- 駅周辺整備事業特別委員会 委員
- 財政検討特別委員会 委員
- 公共交通対策特別委員会 委員長
- 佐藤正久参院議員(ヒゲの隊長)
奈良県後援会平群支部長

コロナ禍の中 成人式無事開催

コロナ禍の大変な社会情勢の中、本年も1月10日、平群町成人式が無事開催されました。新成人の未来が輝かしいものであるようお祈りいたします。思い返すと、私が議長をさせていただいた2年前の1月13日、これまで通りの平群中央公民館での最後の成人式



が開催された以降、コロナ禍のため来賓等の参列も無しとする等、出来るだけ新成人の方々だけの集いになるようコロナ感染対策に十分配慮された開催となっております。

この2年間を振り返ると、社会全体で様々な催し物の開催が自粛・縮小・延期・中止せざるえない状況を余儀なくされてきました。人と人の交流の減少による情報交換の減少やコミュニケーション不足による信頼関係の失墜、経

メガソーラー建設工事について

現在平群町では、町を二分する勢いで太陽光パネル(メガソーラー)建設工事が大きな問題となっております。そもそも許認可権は奈良県知事にあります。しかし、正当な理由なく、許認可に対し意図的に封じる行為、手続きを行えば「行政手続き不服申し立て」等の訴訟を進められ、場合によっては奈良県が敗訴のうえ、損害賠償をしなければならぬ状況に陥る結果にもなりかねません。そのためにも法令に従っ

た公正公平な手続きを進める必要があります。また、政令指定都市や奈良市等の中核市以外、平群町などの市町村では許認可権を持たないこともあり、特定の意図を持ち開発事業等に反対や賛成の意思を表すことは出来ません。都道府県が許認可権者であることより、町は、正当な意見等要望を出すことしか出来ないのが現在の状況です。

その様な中、12月議会では、「平群のメガソーラーを考える会」代表世話会の方より「生駒平群発電所(太陽光)防災工事について住民の安全を守る確実な対策を求める請願書」が平群町議会に提出されました。

反対討論要旨

請願書には、まだまだ事業者や奈良県には任せられない、このままでは住民の安全・安心が担保できず、防災工事として、流量調整機能を持った調整池を設置してほしいという内容であると思われる、奈良県のこれまでの指導にも異を唱えるものとなっているように感じます。

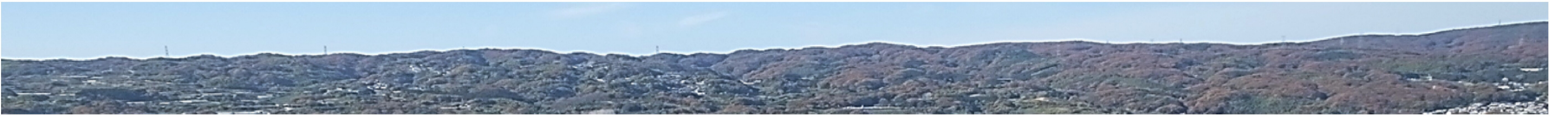
そのうえ、請願文の理由等の内容を見てもみずと、認可権のある奈良県の判断に及ぶ部分や事業者任せではなく県の判断にそって進められてきた事に対し、結果的に工事の中止、工事が出来なくなる事を望むものになっている様に感じ、9月の請願内容と重なる意図が含まれている様におもいます。

仮に、工事そのものが中止、事業者が撤退するという結果になった時は、その後の浚渫等、調整池の維持管理は誰が責任をもって行っていくのでしょうか。維持管理が適正に行われなければ、かえって危険を伴うものになりかねません。そのためにも、現在の状況から見れば、事業が今後、法に従った適切な管理の下、適正に履行され安全確保が十分になる事が一番大切であると考えます。

これまで署名された住民の方々の思いや請願の趣旨は一定理解できますが、奈良県の指導の下、早急に安全を確保し、将来にわたっての安心を確保する観点より、請願には反対せざる負えない結論に至りました。

以下に反対討論の中身について要旨を掲載いたします。

12月8日、平群町議会の委員会質疑の中で、奈良県は、12月7日県議会本会議の一般質問に対し『仮設沈砂池の設置を11箇所、沈砂池の上流部に土砂流出防止柵の設置を14箇所すべての工事の完了を確認しており、今後さらに応急防災工事の一環として現状で必要な防災調整機能の調査、計画、実施について指導していく』と答弁したことが明らかになりました。又、事業者としても現在奈良県と調整池設置にむけ協議中であるとの事であるため、平群町議会としてもこれまで通り許認可権者である奈良県に一任することが本来の対応であると思う事、請願の内容は現状、すでに解決に向けて進んでおり、今後も引き続き奈良県の対応に注視するという観点等、以上の事及び生駒平群発電所事業の事案は現在係争中の案件であることから、この請願には賛成できないという結論に至り、反対いたします。



令和3年9月/12月議会



一般質問 (要旨)

国道168号協和橋東詰交差点改良について

9月議会



平成21年3月議会の一般質問でも取り上げ、其の後、国道168号南方面行、右折レーンが設置され...

町内ボランティア団体及びその活動について
12月議会
ボランティアとは、明確な定義で表現することは難しいです...



困っている人を助けたり、環境や動物を保護したりといった幅広い活動』と言われています。
その活動内容は多種多様であり、町にとっても様々な状況や場所でお力をお借りし、お世話になっている状況ですが、あまりに多方面に及んでいる現状であり、それぞれ所管の部署で統括されているのだと思いますが、その全体的な実情を町として把握されているのかどうか疑問です。

奉仕的補助等、町にとって不可欠な部分で補助頂いている内容であり、必要度・重要度や依存度も高い様に思われます。
そもそも、ボランティア活動をされている方々は様々であり、長年かけて築いて来られた技能・技術や知識、以前からの思い等もあり、関わってみたいかつた事や趣味を生かせる活動など自分の出来ることを、誰かの為、社会の為に奉仕したい等、色々な思いで活動されている方がおられると思います。町はその方々の思い、活動を十分に理解したうえでサポートを受け、有意義な活動の補助等、感謝を込めた対応になっているのでしょうか。疑問です。

山田ひときの指摘
重大な事故が起きてからでは遅い。状況を確認の上、一日も早く安全が確保された交差点にする必要があると思う。
①無償・有償ボランティアの総団体数とそれぞれの会員数は？
②学校ボランティア・図書ボランティア他、町主導で募ったボランティアの総団体数及びそれぞれの会員数は？
③最近のボランティア会員の推移と今後のボランティア組織の方向性及び町との連携はどの様に考えておられるのか？
④活動支援や連携は担当部署が行うにしても政策推進課等において町に関わる全団体の把握をする必要があると思われるが？

答弁
①全ての団体の把握は困難ですが、社会福祉協議会で令和3年度に登録されているのは26団体。内「無償ボランティア」団体は6団体で会員数80名、材料費等の実費や交通費などの少額な実費弁償相当が必要な団体を含めた「有償ボランティア」団体は20団体で343名。この他にも登録されていない団体や個人的に活動されている方もある。
②令和3年度の教育委員会ですら所管するボランティアは、登下校見守りや環境整備(草引き)他、学校・こども園関係で207名・図書館関係で40名・草引き、草花手入れのサポーターとして文化センター関係で17名の登録。その他、事業部関係で花いっぱいサポータークラブ活動の7団体がある。
③定年延長や再任用制度に伴い現役世代の年齢も延長になってきたことから、新規会員が減少にあるものと考えられる。
第5次総合計画においても「住民参加の仕組みづくり」を重点施策と掲げており、行政と町民との協働のまちづくりは必要不可欠である。ボランティアへ参加しやすい仕組みづくりについて調査研究してまいりたい。
④町として全団体の把握をする必要はあると考える。今後、加入促進も含め広報紙等を通じて、住民の方々に団体を知っていただく取り組みも検討したい。

*その他の一般質問
9月議会：コロナ感染症における医療対応並びにPCR検査について
12月議会：平群中学校のクラブ活動について